


 **太陽ホールディングス株式会社**
TAIYO HOLDINGS CO., LTD.

〒171-0021 東京都豊島区西池袋一丁目11番1号
メトロポリタンプラザビル16階
TEL: 03-5953-5200(代表) FAX: 03-5953-5210
<http://www.taiyo-hd.co.jp>

未来が変わる。日本が変わる。
チャレンジ 



社会を照らす、未来を照らす
CSRレポート 2018

 **太陽ホールディングス株式会社**
TAIYO HOLDINGS CO., LTD.

明日の地球にできること

太陽HDグループは、ソルダーレジストのトップメーカーです。当社グループの製品は、一般の方の目に触れる機会は多くありませんが、家庭やオフィス、その他生活の身近にあるあらゆる電子機器に使用され、安全で豊かな暮らしを支えています。ステークホルダーから信頼され、共感される企業であり続けるために、これからも事業を通じて社会の持続的な発展に貢献していきます。



2018年6月1日現在

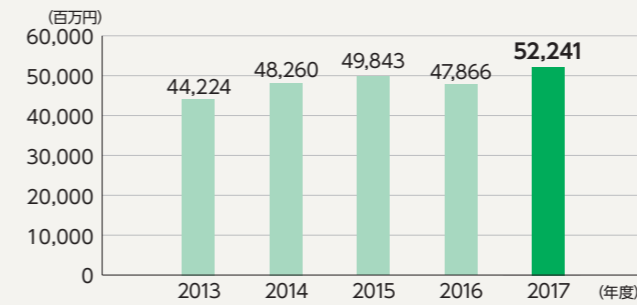
■ 会社概要 (2018年3月31日現在)

社名：太陽ホールディングス株式会社
 英文社名：TAIYO HOLDINGS CO., LTD.
 本社所在地：東京都豊島区西池袋一丁目11番1号
 メトロポリタンプラザビル16階
 電話番号：03-5953-5200(代表)
 設立年月日：1953年9月29日
 事業内容：持株会社、グループ全体の経営方針策定
 および経営管理
 資本金：92億3,216万円
 従業員数：連結1,268名/単体81名

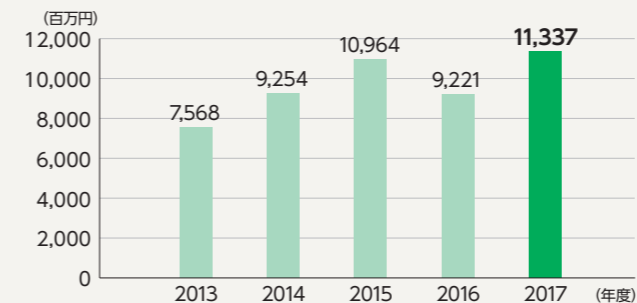
■ プロフィール

当社は1953年に印刷用インキの製造販売会社として設立し、その後1976年にエレクトロニクス業界向けのソルダーレジストを主力製品とする事業に大転換いたしました。現在は商号を設立時の「太陽インキ製造株式会社」から「太陽ホールディングス株式会社」に変更し、2013年4月には経営理念の改定を行うなど、常に時代にあわせて進化を続けていますが、設立時の「太陽のように社会を照らし、人々の役に立つ存在でありたい」という想いはそのままに受け継ぎ、これからも皆様に愛される企業グループを目指していきます。

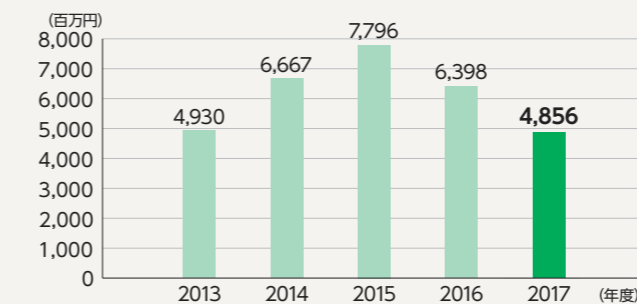
■ 売上高の推移(連結)



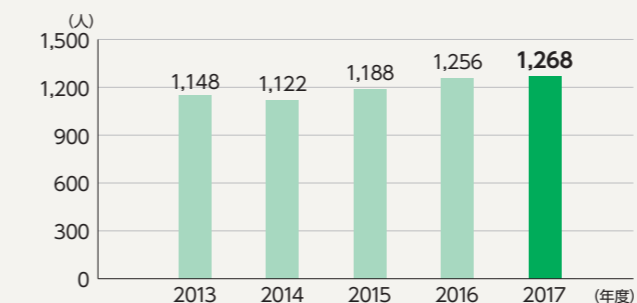
■ 営業利益の推移(連結)



■ 親会社株主に帰属する当期純利益の推移(連結)



■ 従業員数の推移(連結)



CONTENTS

- 03 トップコミットメント
- 04 経営理念・CSR理念・行動規範
- 05 特集：環境のために、地域のために、
太陽HDグループができること

マネジメント

- 07 2017年度CSR活動の実績と今後の目標
- 08 コーポレートガバナンス
- 08 コンプライアンスに関する取り組み
- 09 リスクマネジメントに関する取り組み

社会性報告

- 10 株主の皆様との関わり
- 11 地域・社会との関わり
- 13 社員との関わり
- 15 お客様との関わり
- 15 お取引先との関わり

環境報告

- 16 環境方針と環境マネジメントシステム
- 17 環境負荷低減の取り組み
- 19 事業活動と環境との関わり
- 20 法規制測定データ集

■ 編集方針

本レポートでは、太陽ホールディングスグループ(以下、当社グループ)のCSRへの取り組みを特集としてご紹介し、続けて「マネジメント」「社会性報告」「環境報告」の3章を柱にしています。また、専門的でわかりにくい用語については、「用語解説」を設け補足しています。

■ 対象期間・対象範囲

本レポートの活動対象期間は、2017年度(2017年4月1日～2018年3月31日)です。対象範囲は、太陽ホールディングス(以下、太陽HD)本社ならびに太陽インキ製造(以下、太陽インキ)本社、太陽グリーンエナジー(以下、太陽GE)、太陽HD嵐山事業所(以下、嵐山事業所)、太陽インキ北九州事業所(以下、北九州事業所)のマネジメント・社会性・環境の3側面における活動です。活動対象期間が異なる場合は、該当箇所に別途記載しています。

■ 発行年月

2018年6月(次回予定:2019年6月)

新たな事業の創出とグループの成長を通じて、社会的責任を果たしてまいります。

2017年度を振り返って

当社グループが永続的に成長していくためには「自律型人材の育成」と「新規事業の創出」が必要であり、自律型人材を育成するには各社員が仕事にやりがいを見出すとともに、会社が社員を公正に評価し、職場環境を整えることが重要であると考えています。

その考えのもと、2017年度は、社員の創造力を刺激し、個々の能力を十二分に発揮できるように、太陽インキ本社の地下会議室をリニューアルしました。リニューアルした会議室は、ヨガや坐禅などの多目的な活動にも利用でき、社員の多様な発想を後押しする環境となっています。また、地域貢献も意識し、埼玉県の木材をふんだんに使用し造作しています。

新規事業の創出

当社グループは、主力製品のソルダーレジスト関連の製品については市場シェアの拡大、また、その他の製品についてはソルダーレジストに続く利益の柱となるような新製品を継続的に生み出し、迅速に事業化する体制を構築するべく取り組んでいます。新製品の開発は、事業そのものを創り出していく「事業開発」と同義であると考えており、社員全員と共有しています。

2017年度は、太陽ファルマを設立し、長期収載品13製品の製造販売承認および製造販売権等の資産を譲り受け、医療・医薬品事業に参入しました。今後、本格的に医療・医薬品事業を展開する所存です。

今後も当社グループは総合化学企業として品質・安全を第一に新規事業を創造していきます。

CSRの理念を念頭に

当社グループは創立以来、株主、顧客、取引先をはじめ多くのステークホルダーの方々の信頼を得て発展してまいりました。今後も引き続き当社がその信頼に応え、共に発展していくために、すべての役員、社員が倫理・法令を遵守し、常に前向きな姿勢で事業活動に取り組み、企業の社会的責任を果たします。この責任を果たしていくために、「CSR理念」「行動規範」を定め、各種マネジメントシステム・委員会からなるCSR組織で様々なCSR活動を行っています。

2017年度は、「エネルギーの消費者から生産者へ」という取り組みのもと2015年に嵐山花見台工業団地の調整池にて水上太陽光発電を開始して以来、2基目の発電所「嵐山大沼水上太陽光発電所」を開所しました。本施設は、隣接する太陽インキ埼玉工場に接続されており、発電された電力はすべて当工場の運営に利用され、当工場で使用される総電力の5%に相当します。食糧問題への取り組みとしては、嵐山事業所の一角の植物工場野菜の栽培を継続して行っています。また、地域のイベントやボランティア活動への参加、社員食堂での地元食材の使用など、地域社会に根差した活動を行っています。これからも役員、社員一同、積極的なCSR活動に取り組み、社会から信頼される企業を目指してまいります。

2018年 6月

代表取締役社長

佐藤 英志

経営理念

我がグループの「あらゆる技術」を高め、革新的な製品をもって、夢あるさまざまなモノをグローバルに生み出し、楽しい社会を実現します。

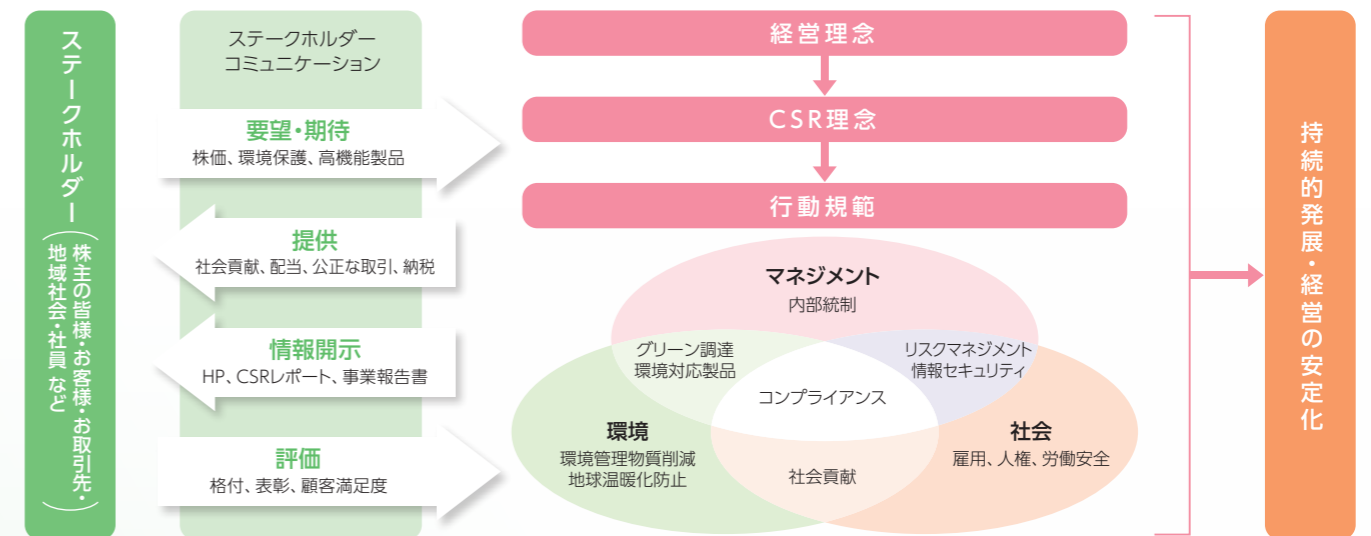
CSR理念

わが社は法令遵守、環境保護、品質管理の徹底、社会貢献を含め企業の社会的責任を全うします。

行動規範

CSR理念を実現させるために、次の各項を定め行動します。

- | | |
|------------------|---|
| 1. 倫理・法令遵守 | 私たちは、事業活動にあたって法令その他の社会的規範を遵守し、その精神を理解して公平かつ公平に行動します。 |
| 2. 職場の環境 | 私たちは、社員の人権を尊重し、公平で差別のない職場をつくりまします。 |
| 3. 公正な取引の実施 | 私たちは、全ての取引先に誠意をもって接するとともに公平かつ適正な取引条件を設定し、事業活動を行います。 |
| 4. ステークホルダーの尊重 | 私たちは、常に全てのステークホルダー(利害関係者)の立場を尊重し事業活動を行い、また、開示すべき情報は適時・適切に公表します。 |
| 5. 秘密の保持 | 私たちは、取引先の秘密情報、自社の秘密情報ならびに個人情報に漏洩しないように管理を行います。 |
| 6. 品質の確保(品質方針) | 私たちは、お客様に満足していただける品質と安全性を確保し提供します。 |
| 7. 環境の保全(環境基本理念) | 私たちは、社会的責任遂行の一環として地球環境保全に努め、環境と調和した事業活動を行います。 |
| 8. 社会貢献活動 | 私たちは、社会の一員として社会貢献活動を行います。 |
| 9. 知的財産権の尊重 | 私たちは、創作または保有する知的財産権を適切に保護するとともに第三者の知的財産権も尊重します。 |
| 10. 反社会的勢力の排除 | 私たちは、反社会的勢力に対し、不法・不当な要求には一切応ずることなく、毅然とした態度を貫きます。 |



環境のために、地域のために、 太陽HDグループができること

「明日の地球にできること」当社グループはこの考えを念頭に社会の持続的な発展に貢献していくとともに、地域に根ざした活動に取り組んでいきます。

1 嵐山大沼水上太陽光発電所開所 「明日の地球」を考えた グリーンエネルギーの活用

「エネルギーの消費者から生産者へ」という取り組みのもと、太陽GEでは水上太陽光発電の2基目となる嵐山大沼水上太陽光発電所を設立し、2017年12月7日に嵐山町長をはじめ関係者を招いて開所式を開催しました。

本施設は発電したすべての電力を隣接する太陽インキ埼玉工場に供給しており、これは当工場で使用する電力のおよそ5%に相当します。同発電所は平成29年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(再生可能エネルギー電気・熱自立的普及促進事業)に採択されました。

嵐山大沼水上太陽光発電所



嵐山町が管理する官有地を借用して開業しました

発電した電力は隣接する工場自家消費しています

発電した電力は工場で使用する電力の5%に相当
毎年約190トンのCO₂を削減見込み

ヤギが入社!! 里山や保育所周辺の 除草作業

嵐山事業所隣地の里山に、雑草が生い茂って大変だったことから、除草のためにヤギを採用しました。

2017年3月に生まれたヤギ2匹が6月1日に入社し、1年が経過しました。嵐山町のふるさと牧場で生まれた2匹で、隣接するたいよう保育所の子どもたちが見守るなかで開催した入社式の様子は、地元テレビ局にとりあげられました。ヤギの住まいとなる小屋は埼玉県産の西川材を使用し、社員有志で手づくりしました。ヤギの名前は社員や、保育所の子どもたちから募集し、体の大きい兄は「あさり」、体の小さい妹は「しじみ」と命名しました。あさりとしじみは社員、



たいよう保育所の子どもたち、地域の方々の愛情を受けて新しい環境にも慣れ、里山や保育所周辺の除草作業に取り組んでいます。

イルミネーションの点灯 地域活性化を目的とした 恒例イベントへ

地域活性化のために人が集まるイベントとして、2017年11月30日から12月27日の16時30分から21時までの間、たいよう保育所隣接エリアでイルミネーションを実施しました。点灯式は社員、保育所の子どもたちや保護者の方々、さらに近隣の方々も参加されて盛大に行われました。今後も恒例イベントとして開催予定です。



今後の取り組み

いちご栽培に挑戦 準備は万端、いざ初収穫へ

植物工場の運営で得られたノウハウを活用して新たにいちごの水耕栽培に挑戦します。すでに農地を確保して栽培のための準備を進めています。予定地の一角には灌漑用の井戸を掘削して毎分およそ300リットルと良質で豊富な井戸水も確保しました。トラクターと軽トラックも手配済みで栽培準備は万全です。宮城県の生産者のもとに社員を派遣し、栽培技術を習得中で2018年末の初収穫を目指しています。



駅前嵐山食堂オープン 地元の食材を活用した料理で 嵐山町の憩いの場に

嵐山町の地域活力創出拠点施設が2018年4月に武蔵嵐山駅にオープンし、駅周辺の活性化事業が始まりました。同時に武蔵嵐山駅西口に当社グループ初となる飲食店「駅前嵐山食堂」をオープンしました。駅前嵐山食堂では、嵐山町を訪れた方々に地元の食材を用いて調理した温かい食事などを提供しています。憩いの場としてお気軽にご利用いただければと考えています。



太陽HDグループは、今後も再生可能エネルギー事業や食料関連事業などの施策を通じて地域社会活性化の一翼を担えるよう取り組んでまいります

2 植物工場でベビーリーフを生産 食糧問題へ挑戦し、地域に貢献

「食糧危機への挑戦」という取り組みのもとスタートした植物工場は操業3年目を迎えました。手さぐりで始めたベビーリーフは、年間を通して安定した生産を続けています。品質向上、パッケージデザインの刷新など、消費者の方々安心して購入できるように取り組んでいます。

こうした取り組みが評価されて当社のベビーリーフはJA農産物直売所、医療機関のレストランなどで採用されています。



2017年度CSR活動の実績と今後の目標

「CSR理念」と「行動規範」に基づき、2017年度の主な活動実績と、2018年度の課題・目標についてまとめました。個々の取り組みの詳細につきましては、各掲載ページをご覧ください。

☺:目標達成 ☹:着手したが未達成 ☹:未着手

マネジメント					
取り組み項目	2017年度の課題・目標	2017年度の主な活動実績	評価	2018年度の課題・目標	掲載ページ
内部統制システム	<ul style="list-style-type: none"> グループ全体の内部統制システムの有効性と効率性の向上 海外子会社における内部統制システムの運用定着と現地化推進 	<ul style="list-style-type: none"> 業務プロセスを見直す際には、内部統制が形骸化することがないことを第一に仕組み、内部統制の有効性を維持した業務の効率化を実施 前年度新規に内部統制システムを構築した海外子会社を含め、各子会社は積極的に内部統制の自主的運用に努めたことを確認 	☺	<ul style="list-style-type: none"> グループ全体の内部統制システムの有効性と効率性の向上 前年度に新たに連結範囲に含まれた子会社の内部統制システム新規構築と定着化 	P8
コンプライアンス	<ul style="list-style-type: none"> 当社グループ各社における展開促進のための活動サポート コンプライアンス教育および法規制管理に関する活動体制の支援 コンプライアンス活動の社内外への情報発信 ホットラインの有効性の向上 潜在的リスクの調査、対応 	<ul style="list-style-type: none"> 当社グループ各社の相談・通報体制の運用状況を確認 全社員向け、管理職者向けのハラスメント教育を実施、法令改定情報のサービスを提供 社内報に記事を寄稿、顧客からの調査案件に対応 相談・通報案件について迅速に対応 リスク調査を実施、対応可能案件について対応開始 	☺	<ul style="list-style-type: none"> グループ全社におけるコンプライアンス活動の展開促進 コンプライアンス教育の拡充 法規制管理体制の強化 コンプライアンス活動の社内外への情報発信 ホットラインの有効性向上 潜在的リスクへの対応継続 	P8
リスクマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な防災訓練を行う 海外におけるBCP体制強化 	<ul style="list-style-type: none"> 各拠点で防災訓練を実施 各拠点で安全対策を実施 	☺	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な防災訓練を行う 海外におけるBCP体制強化 	P9

社会性報告

取り組み項目	2017年度の課題・目標	2017年度の主な活動実績	評価	2018年度の課題・目標	掲載ページ
株主・投資家の皆様	<ul style="list-style-type: none"> 継続的な安定配当を行う ウェブサイト、CSRレポート、アナニュアルレポートなどにより適切な情報開示を行う 	<ul style="list-style-type: none"> 当期(第72期)は、前期と比べ1株につき年間40円10銭の増配 個人株主向け会社説明会を実施 投資家向け企業分析レポートを導入 海外の株主向けに株主総会議案の英訳版をウェブサイトに掲載 	☺	<ul style="list-style-type: none"> 継続的な安定配当を行う ウェブサイト、CSRレポート、アナニュアルレポートなどにより適切な情報開示を行う 情報開示の充実・迅速化 	P10
お客様	<ul style="list-style-type: none"> 製品品質を高めるための「製品設計」「工程設計」「改善活動」を引き続き継続推進 工程管理基準値の見直し、作業要領の遵守に加え、傾向管理体制をさらに強化し異常品発生時の未然防止(予防活動)を推進 	<ul style="list-style-type: none"> 製品品質を高めるための「製品設計」「工程設計」「改善活動」を推進 工程管理基準値の見直し、作業要領の遵守に加え、製品・原料の管理値管理強化、および工程内リスク抽出・対策により異常品の流出防止と発生時の未然防止を推進 	☺	<ul style="list-style-type: none"> 製品品質を高めるための「製品設計」「工程設計」「改善活動」を継続推進 工程管理基準値の見直し、作業要領の遵守に加え、製品・原料の管理値管理強化、工程内リスク抽出・対策により異常品の流出防止と発生時の未然防止を継続推進 	P15
お取引先	<ul style="list-style-type: none"> 引き続きCSR調達ガイドラインを作成する 	<ul style="list-style-type: none"> 調査を継続 	☹	<ul style="list-style-type: none"> CSR調達ガイドラインを作成する 	P15
地域・社会	<ul style="list-style-type: none"> 災害や震災など非常時における地域貢献について取り組む 	<ul style="list-style-type: none"> 嵐山事業所・太陽インキ本社ではこども110番の家としてトラブルに巻き込まれた児童が駆け込める場所を提供 非常時に頼ってもらえるよう地元主催のイベントに協賛し、地域住民と交流の場に積極的に参加 	☺	<ul style="list-style-type: none"> 社会貢献・地域貢献を幅広く行う 	P11~12
社員	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き多様な社員が働きやすく、個々の能力や適性が発揮できる環境、職場づくりを継続 	<ul style="list-style-type: none"> 太陽インキ本社地下会議室のリニューアル完成 各種福利厚生制度の継続、定着 	☺	<ul style="list-style-type: none"> 多様な社員が働きやすく、個々の能力や適性が発揮できる環境、職場づくりを継続 	P13~14

環境報告

取り組み項目	2017年度の課題・目標	2017年度の主な活動実績	評価	2018年度の課題・目標	掲載ページ
環境活動	<ul style="list-style-type: none"> さらなる電気使用量の削減を目標に新しい取り組みを行う 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所内LED化を推進し照明電力量削減 臭気対策を推進 	☺	<ul style="list-style-type: none"> 電気使用量の削減を目標に新しい取り組みを行う 	P16~22

コーポレートガバナンス

経営の透明性を確保して説明責任を果たし、健全な会社運営を行うために、「取締役会」と「監査役会」を中心とした体制を構築しています。

コーポレートガバナンス体制

社会から信頼される企業として存続するためには、効率的な業務執行体制を構築するとともに、経営の透明性、健全性を高めることが重要であると考えています。経営環境の変化に迅速に対応できる業務執行とその監督の体制を整え、当社グループ経営全般にわたる、企業価値の向上を図っています。

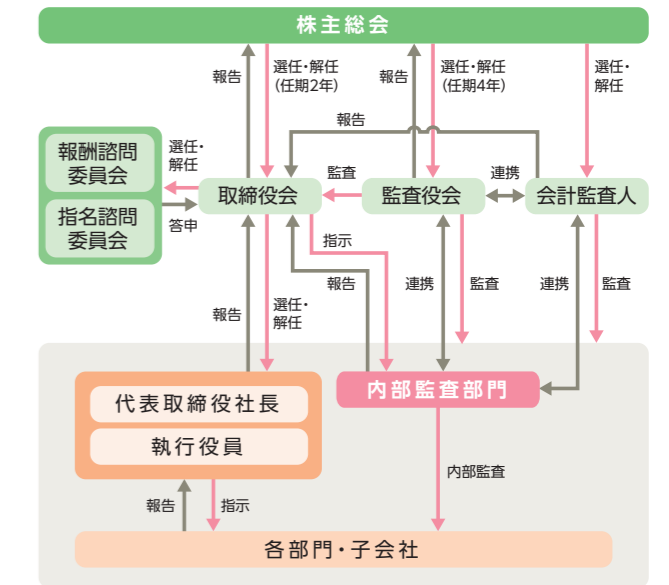
内部統制システム

2017年度は第72期内部統制基本計画書に基づき、重点課題の対応を中心に内部統制の有効性、効率性の向上に努めました。

- 2017年7月より台湾太陽油墨股份有限公司の倉庫管理業務を外部委託したことに伴い、内部統制の見直しを行いました。
- 組織変更や人事異動により、職務分掌、業務分担が変更さ

れた場合においても適切なモニタリング活動を維持し、内部統制の有効性が損なわれることのないよう対応を図りました。

コーポレートガバナンス体制図



コンプライアンスに関する取り組み

私たちは、法令その他の社会的規範を遵守し、公明かつ公正な活動を行い、社会から信頼される企業を目指します。

コンプライアンス活動

近年、企業コンプライアンスは社会における企業の評価基準のひとつとして重要視されています。当社グループは組織、社員一人ひとりが倫理・法令遵守の重要性を意識し、今まで以上に社会から信頼される企業を目指し、活動を推進しています。

当社グループの「CSR理念」および「行動規範」は社会に向けた宣誓であり、その精神に沿った活動が維持されるよう、コンプライアンス推進組織を中心に社員への啓蒙活動を行っています。2017年度は、昨年度に引き続きコンプライアンス教育に注力するとともに、部署ごとに自主的な活動が推進されるよう、体制を見直しました。また、内部統制の一環として、当社グループ各社の活動内容を共有化し、グループ間連携を高めるよう努めています。

コンプライアンス教育

企業の倫理・法令は、社員の遵守精神と知識によって守られます。当社では社員に向けて必要な知識、重要性を伝えるために、コンプライアンス教育に力を入れています。

2017年度は、外部講師を招き、全社員および管理職者向けのハラスメントに関する社内セミナーを開催しました。セミナー参加者からは判断が曖昧とされる事例や対応方法を学ぶ貴重な機会になったとの声が寄せられています。さらに部署ごとでは、自主的に業務に関連する法令を把握し、社員に周知教育を行うことで、業務に合わせた法令知識の習得や部署内の倫理観の共有が進められています。

当社グループはこれらの教育、啓蒙活動を継続し、より一層、社員のコンプライアンス意識を高めていきます。



管理職者セミナー



一般社員セミナー

リスクマネジメントに関する取り組み

事業活動に伴い発生する様々なリスクに対して、適切な対応措置の検討、整備を行ってまいります。

コンプライアンス

企業活動において法律や規制を把握し、遵守することはとても重要です。当社グループは化学物質を多く取り扱い、海外への製品輸出も行うため、国内外における法律や規制の制定、改定情報を速やかに入手し、活動に反映させる必要があります。化学物質においては専門部署を中心に関係部署と連携した対応を推進しており、化学物質以外に関する法令についても各部署が自主的に法令情報入手、対応する活動を行っています。各部署のコンプライアンス活動は年間活動報告と年1回の内部監査により状況を把握し、課題が発見された場合には、速やかに是正対応を行っています。

一方、小さな組織体や個人における法令違反や反社会的行為、ハラスメントの問題は顕在化しにくい場合があります。このような社内の問題を受け止め、迅速に対応するために、相談・通報制度であるホットラインを運用しています。ホットラインは社内独立組織として、相談・通報者の保護を重視した活動を行っています。さらに2017年度は、社員一人ひとりが感じている潜在的リスクの抽出を目的に、全社員を対象としたリスク調査を実施しました。抽出された潜在的リスク要素は、コンプライアンス推進組織を中心に、実状の把握と対応を進めています。

嵐山事業所で防災訓練

嵐山事業所では隣接するたいよう保育所の先生とともに、自衛消防訓練を実施しました。

毎年実施する訓練ですが、本年度は最上階に設置してある緊急避難口(避難梯子や脱出シューター)からの避難訓練に重点を置き実施しました。日頃使用することのない避難口からの訓練は、緊張と不安を抱きながらのものでしたが、体験した社員からは「この体験により、いざ緊急事態の際には躊躇することなく使用することができる。ほかの社員にも指導していきたい」と前向きな言葉が出てきました。自衛消防訓練を行うことにより、災害が発生した場合



避難梯子を使つての避難の様子 脱出シューターを使つての避難の様子

に被害を最小限に抑えることが私どものステークホルダーへのリスク回避につながることを改めて認識しました。

太陽インキ本社で防災訓練

太陽インキ本社では、3月29日に工場製造現場からの火災想定による防災訓練を実施しました。火災発見から初期消火、そして避難放送とともに総勢約280名が避難場所に移動し、部署ごとに点呼確認を完了し、自衛消防隊長に報告して、避難完了という一連のプロセスが履行されました。また、当日は、比企消防本部嵐山町分署の皆様にご協力いただき、消火訓練、そしてAED(自動体外式除細動器)の使用を想定した、救命訓練も合わせて実施され、「有事の際の行動」として再認識する日となりました。

その他、有事の際の「安否確認システム」運用においても、日々の応答訓練を通じて、再徹底しています。



点呼報告の様子 消火訓練の様子 救命訓練の様子

太陽インキ北九州事業所 6S活動

2017年度の6S委員会の目標は「一人ひとりが自律した6S活動を行うこと」でした。自律した活動を行うためには6Sに対する共通の認識を持つことが必要だと考え、6Sの定義を明確にし、これに沿った6S活動のマニュアルを作成しました。1年間を通して目標を達成することができたので、2018年度は6S委員会を解散し、新たにTQM(※1)&QCサークル(※2)活動チームを発足する予定になっています。今後は、この活動を通じてさらなる企業価値の向上に励みます。



6Sの定義を確立し、自律した活動を推進

- 用語解説
- ※1 TQM活動：全社・全従業員で顧客の満足する製品・サービスを提供するための活動
 - ※2 QCサークル：第一線の職場で働く人々が、継続的に製品・サービスの品質/質またはプロセスの質の向上および改善を行うための小グループのこと

株主の皆様との関わり

利益の配分ならびに適切なコミュニケーションを通じて、株主の皆様への「幸福と繁栄」に寄与します。

利益の配分について

太陽HDでは、株主の皆様への現金による利益還元を重要政策と位置付けており、継続的かつ安定的に高水準の利益還元を実施しています。具体的には株主資本配当率を目標指標とし、「連結決算を基準に株主資本配当率を中長期的に5%以上とすること」を目処としています。

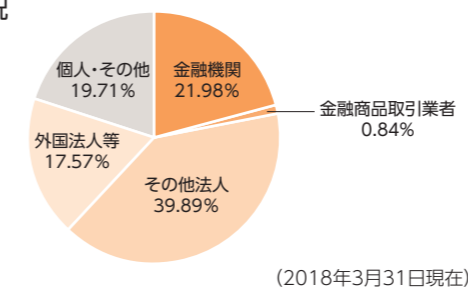
なお、2017年度は年間配当額を記念配当を含め1株あたり40円10銭増額し、合計160円20銭とさせていただきます。自己株式の取得についても株価水準、需給動向などを見極めながら検討をさせていただきます。

●株式の状況

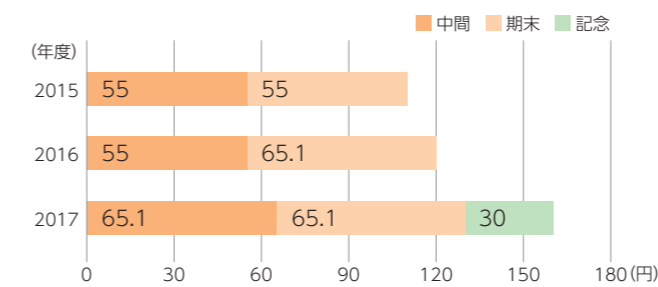
発行済株式数	株主数
28,865,194株	6,437人

(2018年3月31日現在)

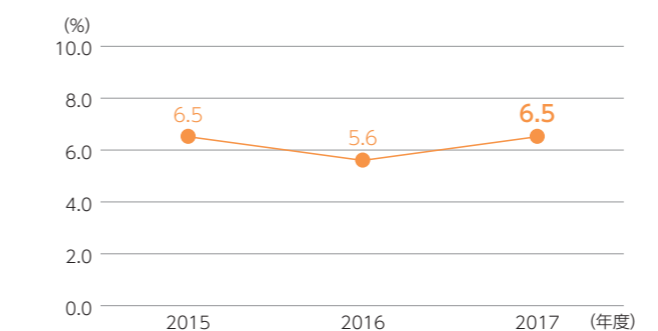
●株式分布状況



●1株あたりの配当の推移



●株主資本配当率の推移(連結)



IR活動

投資判断に有効な情報を株主・投資家の皆様にお届けするため、正確性・公平性・迅速性を確保したIR活動の実施を基本方針としています。

具体的な活動として、ウェブサイトでのIR情報の提供、アニュアルレポートの発行、アナリスト・機関投資家向けの決算説明会開催、機関投資家との個別ミーティング、個人株主様向け会社説明会などを実施しています。また、2017年3月期第3四半期より決算短信を早朝開示に変更し、情報開示の迅速化に努めています。

開かれた株主総会

2017年6月21日、第71回定時株主総会を開催しました。当社の定時株主総会は、多くの株主の皆様にご出席いただきたいという思いから、株主総会が集中する期間の約1週間前に開催しています。また、招集ご通知の早期発送や、インターネット・携帯電話による議決権行使の採用など、より多くの株主の皆様にご参加いただけるような環境の整備を実施しました。

なお、株主総会の模様は、ウェブサイトのオンデマンド配信により、当日ご出席いただけなかった株主の皆様をはじめ、報道関係の方など、どなたでもご覧いただくことができます。

TOPICS ウェブサイトのご紹介

当社は株主・投資家の皆様に対し、企業情報や財務情報などの情報開示を積極的に行っています。事業内容や製品情報、その他最新のニュースリリースも掲載していますので、ご覧いただければ幸いです。

また、メールマガジンの配信サービスもございますので、当社が発表した最新情報について連絡をご希望の皆様はぜひご登録をお願いいたします。



taiyo-hd.co.jp

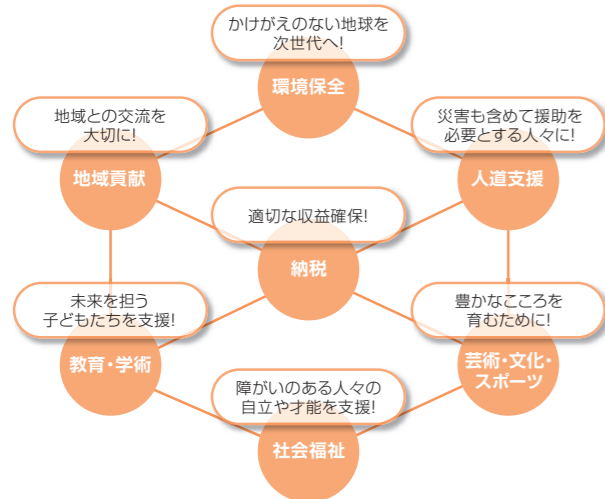
地域・社会との関わり

地域・社会との調和を目指し、企業市民として様々な社会貢献活動に、積極的に取り組んでいます。

社会貢献に対する基本的な考え方

社会の一員として、社会の発展に寄与すること。これも企業が果たすべき大切な責任のひとつです。限りある資源を次の世代に残し、関わる人の心を豊かにし、共に成長する企業であり続けるため、当社グループ各社が連携し幅広い活動に取り組んでいます。

●当社グループが目指す社会貢献



2017年度 地域・社会貢献活動概要

活動項目	実施時期	内容
嵐山町成人式	1月	記念品の提供
障がい者支援団体協賛	9月	障がい者が運営する団体の活動への協賛
嵐山町民体育祭	10月	賞品の協賛
日赤献血活動	10月	輸血を必要としている患者さんの尊い命を救うための活動
「七つの祝」式典	11月	記念品の提供
日本赤十字(募金)	11月	人間の命と健康、尊厳を守るための活動に協力
赤い羽根共同募金	11月	地域福祉の推進を支援
日本ユニセフ協会(募金)	11月	子どもたちの権利が守られる世界を実現するための活動に協力
嵐山まつり	11月	模擬店の出店や祭りの運営に協力
工場見学	11月	小学生の社会科見学受け入れ
保育所	通年	地域の子どもの受け入れ
学校教材への協力	通年	社会科副読本「らんざん」への掲載協力
イベント協賛	通年	スポーツイベントなどへの協賛金の拠出
義捐金・救援金寄付	通年	海外を含めた激甚被災地への復旧支援
嵐山町町内小中学校PTA資源回収協力	通年	教材費用などへの活用を目的として廃段ポールを提供
エコキャッププロジェクト	通年	ペットボトルのキャップを集め、世界の子供たちにワクチンを届ける活動に協力
使用済み切手収集	通年	使用済み切手を集め、施設や団体に寄付
アマチュアスポーツ選手支援	通年	資金が潤沢ではないスポーツ選手を支援
貸出し図書コーナーの設置	通年	嵐山町立図書館書籍の企業における貸し出し実施
彩の国ロードサポート	通年	近隣ごみ拾い活動
京都サンガF.C.キッズスマイルプロジェクト協賛	通年	子どもたちに、サッカーを通じて夢を持つ素晴らしさや、感動、スポーツの楽しさを体験してもらい、笑顔にしていこうと活動に協賛

社会貢献活動

■献血サポーター

太陽インキ本社は、厚生労働省の献血推進対策に賛同し、献血サポーターとして社員へ献血活動への理解と協力を呼びかけています。また、当社グループの他拠点に勤務する社員も毎年巡回献血に協力しています。

その功績が認められ、運動に積極的に協力した個人や団体を表彰する「彩の国さいたま愛の血液助け合いの集い」にて埼玉県知事から感謝状をいただきました。



巡回献血の様子



■イベントへの協賛

当社グループでは、日頃からお世話になっている地元の皆様への感謝の気持ちと、地域社会活性化の一助になればとの思いから、各種イベントへの寄付や協賛などで運営の協力をしています。

2017年度は、太陽インキ本社の近郊地域で行われた「日本スリーデーマーチ」「小川和紙マラソン大会」などのスポーツイベントに協賛しました。文化イベントでは、地元地区のお祭りをはじめ、「嵐山まつり」への出店、「嵐山さくらまつり」「東松山花火大会」「小川町七夕まつり」などに協賛しています。各種イベントには多数の社員が積極的に参加し、社員にとっても部署を超えた交流の場になっています。



「嵐山さくらまつり」で花火打上げを協賛



小川和紙マラソン

地域貢献活動

■地域活性化への貢献

太陽インキ本社および嵐山事業所が位置する埼玉県嵐山町は、木曾義仲や畠山重忠など、日本史に名を残した坂東武者ゆかりの地です。その歴史と伝統を継承する文化まつり「嵐山まつり」に、毎年模擬店を出店しています。

2017年度は子ども向け玩具・遊具の販売のほか、太陽GEで作っているベビーリーフの販売、化学実験教室の開催など、様々な活動を通じて地域の皆様との交流を図ることができました。なお、当日の売上金は社会福祉協議会へ全額寄付し、社会福祉の向上に役立てていただきました。



嵐山まつり模擬店

■社会科見学の受け入れ

太陽インキ本社では地元の小学校の社会科見学として、工場見学や化学実験教室を行っています。嵐山町教育委員会が発行している小学校3・4年生向け社会科副読本には、社会科見学の題材として太陽インキが掲載されています。

今後も地域に根差した次世代の人材育成に貢献していくため、子どもたちに教育・経験の機会を継続して提供していきます。



説明に耳を傾ける地元の小学生

VOICE 化学実験教室

「嵐山まつり」や「社会科見学」では、地域の子供たちが化学に興味をもつきっかけになる場を提供したいという願いから新入社員による化学実験教室を行っています。嵐山まつりでは「発泡する入浴剤づくり」を企画し、約200人の子どもたちが参加しました。完成した入浴剤をうれしそうに披露する子どもたちの笑顔がとても印象的でした。



社会科見学では「感光性樹脂を用いたスタンプづくり」を実施しました。子どもたちはスタンプのでき栄えに歓声を上げていました。これからも子どもたちの喜ぶ顔に出会える実験教室を提案していきたいと思っています。

2017年入社 新入社員一同

環境保全活動

■ミドリシジミの保護／ハンノキ林の環境整備

ミドリシジミの幼虫は、ハンノキの葉を食べ、成虫はクリの花などの蜜を吸い、幹や枝に卵を産みつけて越冬します。



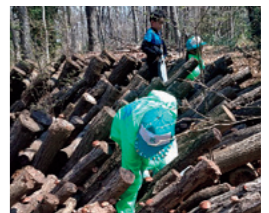
ミドリシジミ

このハンノキ林が荒廃しないように、草刈りを行いました。

ハンノキは、埼玉県の「県の蝶」であるミドリシジミが生息している木で、太陽インキ本社に隣接する大沼池畔に生い茂っています。

ました。

2009年4月に都市計画法の「特別緑地保全地区」に指定された嵐山町小千代山(3.7ヘクタール)は、県立比企丘陵自然公園に隣接する雑木林で、国蝶オオムラサキが生息している貴重な緑地です。この緑地を維持していくために、雑木の間伐・樹木調査・遊歩道の整備等を行うボランティア活動に参加しています。



里山整備

■嵐山町内の里山整備

嵐山町小千代山で嵐山町町制施行50周年記念行事である、200本のヤマツツジの植樹会にボランティアで参加し

今後も、地域住民の方々とともに、地域の自然環境に対する意識の向上に努めていきます。

社員との関わり

社員一人ひとりが、個々の強みを活かし、自分の能力や適性を最大限に発揮できる職場づくりを進めています。

雇用における基本的な考え方

太陽HDグループでは、グループ全体の人員状況と成長計画を踏まえ、適正人員の維持を図っています。

また、国籍や性別、年齢などに関係なく活躍できる職場を提供するとともにワーク・ライフ・バランスを推進するために、仕事と家庭生活の両立を支援しています。

●社員概況(2018年3月31日現在)

	単位	男性	女性	合計
正社員総数 ^{※1}	人	288人	67人	355人
正社員以外の雇用数 ^{※2}	人	11人	11人	22人
社員平均年齢 ^{※3}	歳	44.68歳	36.97歳	43.23歳
社員平均勤続年数 ^{※3}	年	17.02年	11.31年	15.94年
障がい者雇用人数	人	1人	0人	1人
障がい者実雇用率 ^{※4}	%	—	—	0.56%
再雇用人数	人	16人	0人	16人

集計対象：太陽HD、太陽インキ、太陽GE、太陽ファルマおよび海外出向者
 ※1 再雇用社員、契約社員、パートを除く人数
 ※2 契約社員とパート社員
 ※3 再雇用社員、パートを除く
 ※4 障がい者雇用率制度による

「次世代の育成」に寄与する支援制度

保育所の入所待機児童の増加が社会問題となっているなか、太陽HD、太陽インキ、太陽GE、太陽ファルマおよび海外出向者は、仕事と家庭生活の両立を支援するため育児休業・短時間勤務の制度化をはじめ、各種制度を取り入れています。

育児短時間勤務制度は法令で定められている期間を超え、3歳～小学校3年生の小さな子どもがいる社員に対して、希望により1日の勤務時間を6時間30分まで短縮できるよう定めています。

今後もワーク・ライフ・バランスを推進し、社員が働きやすい環境づくりを進めていきます。

●主な支援制度

制度名	利用者数		
	2015年度	2016年度	2017年度
育児支援 育児休業制度 (満1歳に達した翌年度末まで)	2	5	6
育児短時間勤務制度 (小学校3年生修了まで)	11	5	14
介護支援 介護休暇・介護短時間勤務制度 (延べ日数93日)	1	1	1
看護支援 看護休暇制度	48	54	52
永年勤続 リフレッシュ休暇制度 (勤続5年ごとにリフレッシュ休暇と資金の支給)	56	53	59

集計対象：太陽HD、太陽インキ、太陽GE、太陽ファルマおよび海外出向者

資格取得支援制度

社員の自己啓発を促すことを目的に、「資格取得支援制度」を導入しています。

当制度は外国籍社員の増加に伴い、日本語能力試験も支援対象としています。この制度の利用によって、多くの社員がスキルアップできるよう、今後も支援を続けていきます。

●難易度別資格取得者数

難易度	S	A	B	C	D	合計
2015年度	0	4	5	6	0	15
2016年度	0	7	9	6	2	24
2017年度	0	2	4	6	1	13

集計対象：太陽HD、太陽インキ、太陽GE、太陽ファルマおよび海外出向者
 ※難易度：Sは司法書士・公認会計士など、Aは税理士・中国語検定1級など、Bは日商簿記検定試験2級・TOEIC TEST 700点以上など、Cは産業カウンセラー・基本情報技術者など、Dは環境管理士3級・実用英語技能検定3級など、基準を当社で設定しています

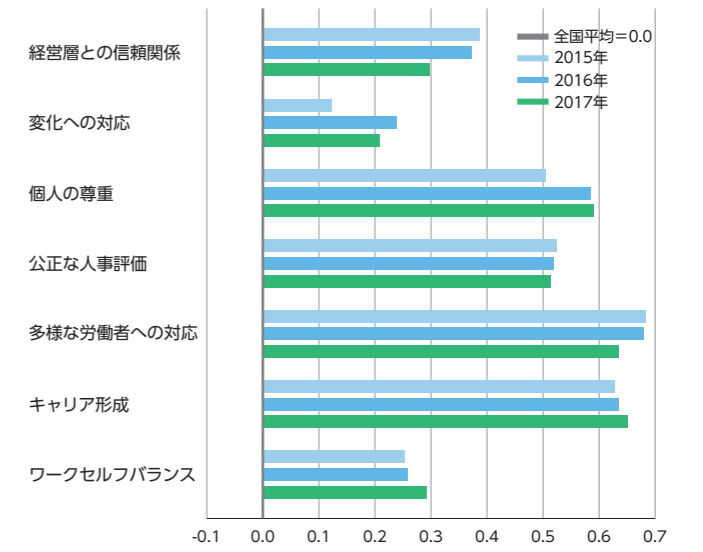
ストレスチェック

当社ではストレスチェックを毎年実施しています。すべての項目において全国平均(0.0)を上回っています。

かねてより、社員がより働きやすい環境をつくるため、オフィスや研究施設の整備はもちろん、休日の充実や家族も対象となるような、社内だけにとどまらない様々な福利厚生を制度を整えてきました。

根底には、会社が成長するために最も大切なのは自ら考え、行動できる「自律型人材」を育成すること、その「自律型人材」が育つには、「仕事のやりがい」「公正な評価・給与」「職場環境」の3つを整えることが不可欠という考えがあります。

●2015年・2016年・2017年 ストレスチェック結果



実施期間：2015年10月14日～10月23日、2016年10月12日～10月21日、2017年10月3日～10月13日
 対象：太陽HD全従業員(社員、契約社員、再雇用社員含む)
 実施機関：アイエムエフ株式会社 ※全国平均をゼロとした時の数値(SDスコア)です

TOPICS 太陽インキ本社地下会議室リニューアル

地下会議室エリアを大幅リニューアルしました。新しい会議室は、和の空間で社員の多様な発想を後押しし、また心身の健康維持・増進のため楽しく集まれる場所を提供したい、との想いが込められています。靴を脱いでみんなが集う、珍しいタイプの会議室は、埼玉県の木材をふんだんに使用しています。

多目的室「動」では、床暖房を完備し、鏡張りで様々な運動の体験に触れられるようになっており、ヨガ、ダンスレッスンなどを実施しています。

和室会議室「静」は、グループのロゴマークが特注の障子窓で作られ、暖かい光が差し込む空間となっており、坐禅会などを実施しています。

今後も社員が様々な体験・交流ができる環境づくりに取り組んでいきます。

多目的室【動】



多目的室



エアリアルヨガ

和室会議室【静】



和室会議室



坐禅

お客様との関わり

太陽インキではISO 9001:2015に基づいた品質マネジメントシステムを適用して、品質保証、品質管理、品質改善の活動を行い、お客様にご満足いただける品質と安全性を確保し提供しています。

マネジメントシステムの改善

2017年度は、ISO9001の規格要求事項の改訂に伴い、ISO9001:2015年版の規格要求に応じてQM^{*1}の改訂を実施し、運用を開始しています。ISO9001:2015年度版では、リスクと機会への取り組みへの強化が要求されており、マネジメントレビューからの展開として、これらを特定し、プラス面の増大も含めた継続的改善の取り組みを開始しています。

製品品質に関わる予防(改善)活動

①傾向管理^{*2}・トレンド管理による不適合の未然防止

規格の適合性検査だけでなく、原料の受入検査、製品検査に傾向管理(トレンド管理)を浸透させることで、品質の安定した製品をお客様に提供できるように努めています。

②工程内リスクに対応した対策による不適合の未然防止

原料受入から製品出荷までの工程内リスクを抽出し、リスクに応じた対策を取ることで、不適合が発生する前に未然に防止し、お客様に、より品質の安定した製品を提供します。

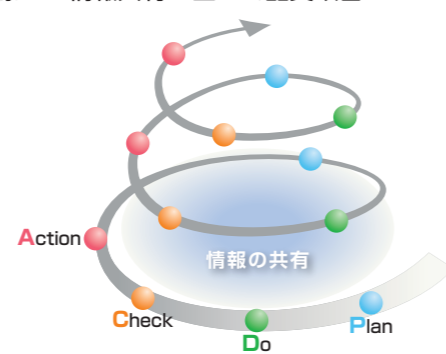
用語解説 ※1 QM:品質マニュアル
※2 傾向管理:規格の合否判定だけでなく、実測値がどのように推移しているか確認し、不合格になる前に対策を講じ、安定した品質を維持する活動

お客様からの声の活用

中期重点品質目標は「品質システムを体系的に見直し、顧客満足を高めて、信頼と持続可能な競争優位性を確保する」です。毎年実施している「顧客満足度調査」の結果を評価し、お客様の満足度をより高めるための取り組みが大事であると捉えています。

そのため、お客様よりお寄せいただいた声は取りこぼすことなく対策を講じることで、より質の高い製品とサービスの提供に日々努めています。

●お客様との情報共有に基づく品質改善



お取引先との関わり

グリーン調達基準に基づき、環境と安全性・品質安定性に配慮した原材料の調達を行っています。

購入先評価と立ち入り監査の実施

お取引先との信頼関係の構築・強化のためにお取引先にご協力をいただき、今年も立ち入り監査を実施しました。

監査は主に購買課、品質保証部にて構成されたメンバーで行い、場合によっては製造技術・設計部門も加わり、原料および副資材の品質向上を目的に実施しています。

監査の実施結果

2017年度は、お取引先6社の監査と5社の工場見学・立ち会い試験を実施しました。

- ①品質不具合のフォローアップ 0社
- ②原料安定供給確認 3社
- ③生産ラインの変更 1社
- ④新規取引先 2社
- ⑤生産工程の見学・試験 5社

お取引先の監査および外注先での立ち会い試験を通じ

て、当社製品の用途や原材料に要求される品質をご理解いただき、生産に活用していただいています。また、訪問先にてお取引先の環境管理物質への取り組みおよび環境負荷物質の管理について確認させていただき、変更などが生じた場合に都度、対象の物質が含まれていないかご報告いただくことをご理解いただきました。

下請法の遵守

公正取引委員会からの「下請事業者との取引に関する調査」について、積極的に協力しました。

下請法対象の8社に対して取引を行う際に、以下の事項を十分考慮して対応しています。

- ① 下請代金支払遅延等防止法の遵守
- ② 金融繁忙期の資金繰りへの配慮
- ③ 下請事業者の利益の確保
- ④ 原材料価格等の上昇への配慮
- ⑤ 消費税の円滑かつ適正な転嫁の確保

環境方針と環境マネジメントシステム

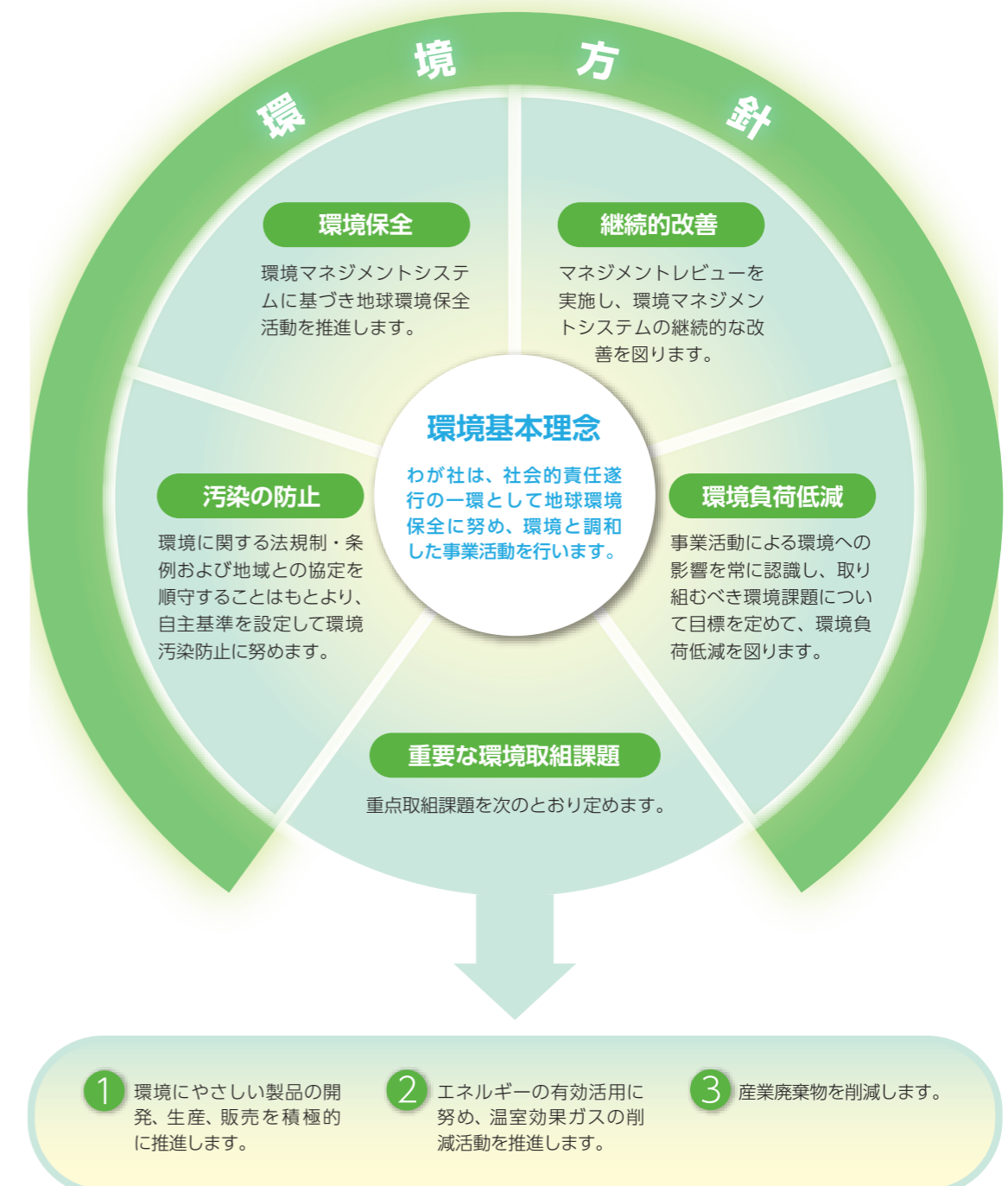
環境基本理念に基づき、環境方針を定めて内外に公表するとともに、当社グループのすべての経営資源を結集し、人・環境・社会が共生する「ものづくり」を推進しています。

環境活動における基本的な考え方

当社グループは、CSR行動規範に「環境の保全」として環境基本理念を定め、「私たちは、社会的責任遂行の一環として地球環境保全に努め、環境と調和した事業活動を行います。」と明言しています。環境マネジメントシステムを通して人々の安全と健康、かけがえのない地球環境を守る

ことが経営上の重要な課題のひとつであると認識しており、環境経営の実現に向けて、この認識を役員および全社員と共有し、活動しています。

以下は、日本の生産拠点である太陽インキの環境基本理念と環境方針です。



- 1 環境にやさしい製品の開発、生産、販売を積極的に推進します。
- 2 エネルギーの有効活用に努め、温室効果ガスの削減活動を推進します。
- 3 産業廃棄物を削減します。

環境負荷低減の取り組み

化学物質によって実現できる豊かさを得た一方、地球環境や人々の健康に与える影響を考慮し、高機能かつ環境負荷の低減を両立した「ものづくり」に取り組んでいます。

嵐山水上太陽光発電所の発電効率

「エネルギーの消費者から生産者へ」という新たな取り組みのもと太陽GEが運営している嵐山水上太陽光発電所が操業3年目を迎えました。

一般に太陽光パネルの発電効率は温度が上昇する夏場には低下する傾向にあります。そこで太陽光パネルを水上に設置することで温度の上昇を抑制する水上設置型を採用しました。陸上部分の工事を最小限にとどめるために太陽光パネルを水中から固定する池底アンカー方式を採



嵐山水上太陽光発電所

用するなど大規模な造成を行うことなく施工することができました。こうした取り組みによって既存の自然環境を維持しながら2017年度にはおよそ1,420,000kWhの電力を発電することができました。

嵐山水上太陽光発電所の概要

所在地：埼玉県比企郡嵐山町花見台1-1第3調整池
設置面積：約13,300㎡
出力規模：1,153kW
パネル枚数：4,522枚
発電開始：2015年10月
パネル設置工法：池底アンカー方式

嵐山水上太陽光発電所の環境に対する効果

発電量：約390世帯分
CO₂削減量：約420トン/年

嵐山大沼水上太陽光発電所の操業

2017年12月に嵐山大沼水上太陽光発電所が操業を開始しました。2015年に開業した嵐山水上太陽光発電所と同様の水上設置型で池底アンカー方式を採用しています。出力規模は317kWとコンパクトですが、この発電所で発電した電力はすべて隣接する太陽インキ埼玉工場の運営に利用され、発電量は当工場で使用電力の約5%に相当します。

このような取り組みが評価され、発電所の設置にあたり平成29年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(再生可能エネルギー電気・熱自立的普及促進事業)に採択されました。これは環境省が、地域における再生可能エネルギー普及・拡大の妨げとなっている課題への対応の仕組



嵐山大沼水上太陽光発電所

みを備え、かつCO₂の削減に係る費用対効果の高い取り組みに対し、再生可能エネルギー設備を導入する事業等に要する経費に対して補助金を交付するものです。

嵐山大沼水上太陽光発電所の概要

所在地：埼玉県比企郡嵐山町大字平沢字北山853番地(大沼)
設置面積：約3,500㎡
出力規模：317kW
パネル枚数：1,176枚
発電開始：2017年12月
パネル設置工法：池底アンカー方式

嵐山大沼水上太陽光発電所の環境に対する効果

発電量：隣接する太陽インキの電力使用量の約5%
CO₂削減量：約190トン/年

嵐山大沼水上太陽光発電所は嵐山水上太陽光発電所と同様に大沼を嵐山町から借用して運営しています。当社グループは引き続き、地球温暖化対策やエネルギーの確保、環境汚染への対処などが期待される「再生可能エネルギー」の普及促進に努め、当社グループの生産活動に再生可能エネルギーを積極的に導入することを目指すとともに企業の社会的責任を果たしてまいります。

生産チラーの更新

太陽インキ本社では、生産設備の冷却を行うチラーの更新を行いました。機器の容量と台数の見直しを行い、新しい機器に更新することによって、前年同月比約30%のチラー消費電力の削減が実現できました。



工場棟屋上に設備した生産チラー

屋上遮熱防水

太陽インキ本社屋上の防水シートの更新時期に伴い、防水工事だけでなく、省エネルギーにつながるアイデアとして防水処理をした表面に遮熱塗料を塗り、建物全体の空調負荷を減らす試みを実施しました。

結果として、これまで夏季に屋根の表面温度が70度だったものを40度まで下げることができ、空調電力量として前年同月比約15%削減できました。



工場棟の遮熱防水処理した屋上

事業所内LED化の推進

太陽インキ本社は中期計画として3年前より事業所内の照明すべてをLED化する計画を進めており、全体の9割程度完了しています。LED導入前と比較すると前年同月比約20%の照明電力量削減となっています。



事務厚生棟内のLED

事業所内の臭気対策の実施

太陽インキ本社では臭気対策に取り組んでいます。環境面と健康面から臭気対策は必要不可欠と考え、隙間の補修・室圧の調整等を行った結果、工場内と事務所内ではかなりの臭気を下げることができ、エントランスに入られたお客様からも「臭くなくなりましたね」とおっしゃっていただくことが増えました。

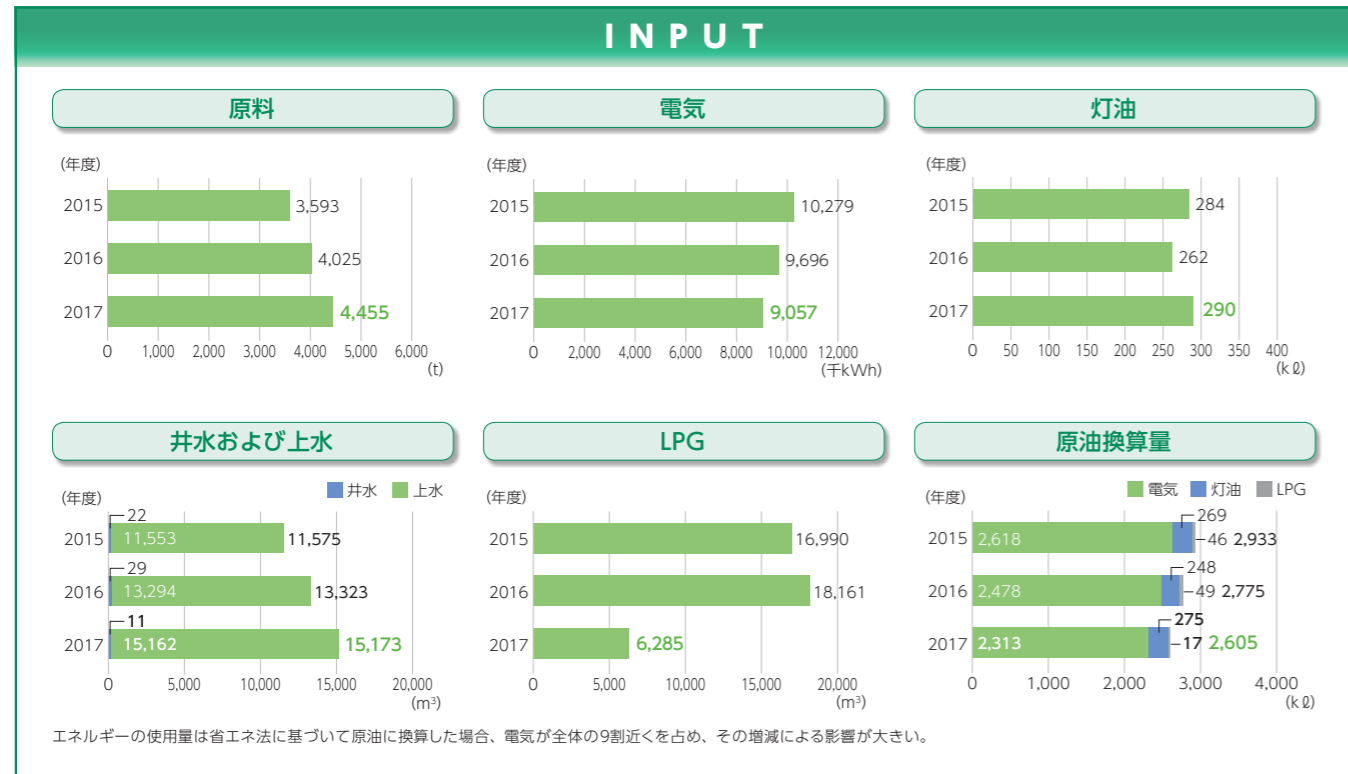
環境と健康に影響が大きいため、今後も定期的な測定と対策を進めていきます。



エントランス

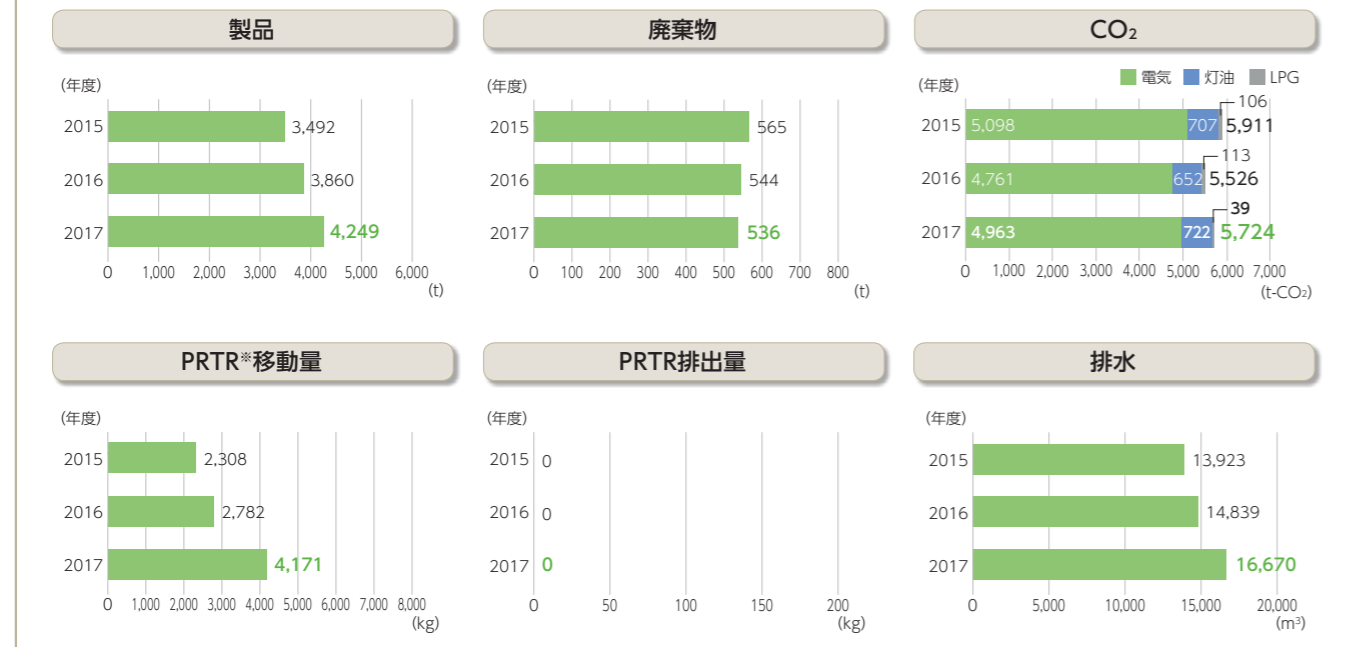
事業活動と環境との関わり

事業活動において、どれだけの資源やエネルギーを使用(INPUT)しているか、どのくらいのCO₂や廃棄物などを発生(OUTPUT)させているかデータを把握し、分析しています。



※北九州事業所は未測定

OUTPUT



※北九州事業所は未測定

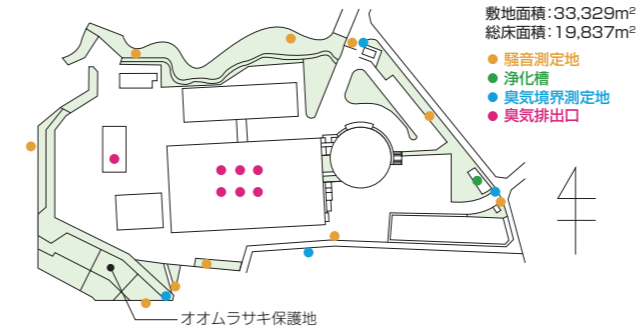
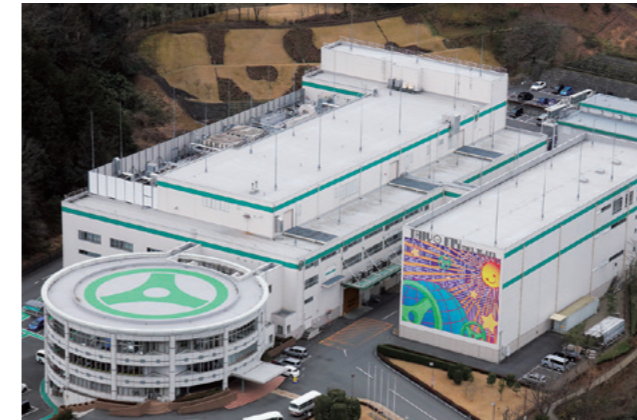
用語解説

※PRTR: Pollutant Release and Transfer Registerの略
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律

法規制測定データ集

法規制に基づく測定を定期的に行い、周辺環境への負荷を監視することで、事業活動に伴う環境負荷の低減を図ります。

太陽インキ本社 埼玉県比企郡嵐山町大字平澤900番地



● 社外臭気(悪臭防止法/埼玉県条例*1)

測定箇所	規制値	2015年度	2016年度	2017年度	
		敷地境界線	15以下	10未満	10未満
臭気指数 排出口	E-1011	35以下	27	31	21
	F-1001	39以下	25	24	19
	第二工場	31以下	10未満	12未満	31
	E-1021	42以下	34	29	36

● 騒音(騒音規制法*2/埼玉県条例)

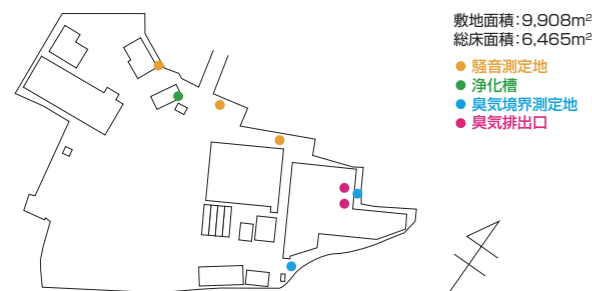
測定箇所	規制値	2015年度	2016年度	2017年度	
		東側	42	42	39
朝	50以下	南側	42	43	42
		西側	40	43	44
		北側	41	41	42
昼間	55以下	東側	44	41	48
		南側	50	46	47
		西側	43	43	44
		北側	43	43	45
夕	50以下	東側	43	45	40
		南側	42	49	47
		西側	40	41	42
		北側	41	42	43
夜間	45以下	東側	42	43	38
		南側	43	44	41
		西側	41	40	39
		北側	42	40	42

● 合併浄化槽(浄化槽法・水質汚濁防止法/埼玉県条例)

項目	単位	規制値	2015年度	2016年度	2017年度
化学的酸素要求量(COD)	mg/L	160以下	12.4	12.5	13.1
生物学的酸素要求量(BOD)	mg/L	25以下	4.7	7.1	4.7
浮遊物質(SS)	mg/L	60以下	8.7	5未満	7.1
水素イオン濃度	pH	5.8~8.6	6.8	6.8	6.7
大腸菌群数	個/cm ³	3,000以下	40.5	30未満	58.7未満
銅	mg/L	3以下	0.1未満	0.1未満	0.1未満
亜鉛	mg/L	2以下	0.1未満	0.1未満	0.1未満
溶解性鉄	mg/L	10以下	1未満	1未満	1未満
溶解性マンガン	mg/L	10以下	1未満	1未満	1未満
全クロム	mg/L	2以下	0.05未満	0.05未満	0.05未満
全窒素	mg/L	120以下	25.8	36.0	30
全リン	mg/L	16以下	2.6	3.7	3.2
ノルマルヘキサン抽出物質	mg/L	30以下	2.5	2.5未満	2.5未満
シアン化合物	mg/L	1以下	0.1未満	0.1未満	0.1未満
鉛およびその化合物	mg/L	0.1以下	0.1未満	0.01未満	0.01未満
六価クロム化合物	mg/L	0.5以下	0.05未満	0.05未満	0.05未満
四塩化炭素	mg/L	0.02以下	0.002未満	0.002未満	0.002未満
ふっ素およびその化合物	mg/L	8以下	0.8未満	0.8未満	0.8未満

用語解説

※1 埼玉県条例: 埼玉県生活環境保全条例
※2 騒音規制法: 騒音規制に関する法律



● 社外臭気(悪臭防止法/埼玉県条例)

	測定箇所	規制値	2015年度	2016年度	2017年度
臭気指数	技術棟排出口	40以下	17	-	12未満
	技術棟排出口	40以下	22	-	14
	敷地境界線No.1	18以下	10未満	-	10未満
	敷地境界線No.2	18以下	10未満	-	10未満

※「社外臭気」の測定箇所は2016年度、改修工事中でした。

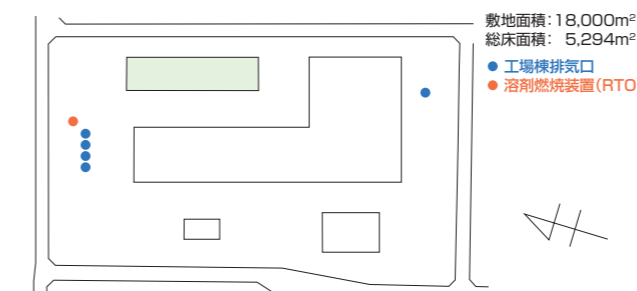
● 騒音(騒音規制法/埼玉県条例)

		(dB)			
	測定箇所	規制値	2015年度	2016年度	2017年度
朝	東側	50以下	45	45	44
	北側		43	43	42
	西側		44	45	42
昼間	東側	55以下	45	45	46
	北側		43	42	44
	西側		45	45	45
夕	東側	50以下	44	44	45
	北側		40	41	41
	西側		40	44	43
夜間	東側	45以下	44	44	44
	北側		40	40	39
	西側		42	44	40

● 合併浄化槽(浄化槽法・水質汚濁防止法/埼玉県条例)

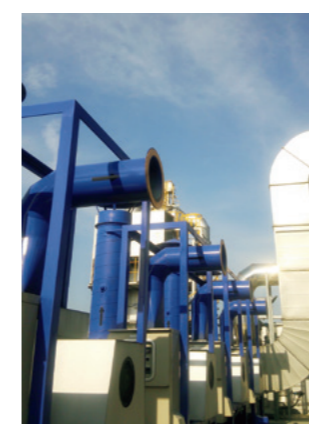
	項目	単位	規制値	2015年度	2016年度	2017年度	
生活環境項目	化学的酸素要求量(COD)	mg/L	160以下	17	17	17	
	生物化学的酸素要求量(BOD)	mg/L	25以下	11.5	14.3	9.1	
	浮遊物質(SS)	mg/L	60以下	6.1	12.7	7.8	
	水素イオン濃度	pH	5.8~8.6	7.2	7.6	7.6	
	大腸菌群数	個/cm ³	3,000以下	608.3	831.3	6841.8	
	銅	mg/L	3以下	0.03未満	0.03未満	0.03未満	
	亜鉛	mg/L	2以下	0.05未満	0.05未満	0.05未満	
	溶解性鉄	mg/L	10以下	0.1未満	0.4	0.1未満	
	溶解性マンガン	mg/L	10以下	0.2	0.1未満	0.1未満	
	全クロム	mg/L	2以下	0.05未満	0.05未満	0.05未満	
	全窒素	mg/L	120以下	21	17	19	
	全リン	mg/L	16以下	3.7	1.4	2.5	
	有害物質	ノルマルヘキサン抽出物質	mg/L	30以下	2.5未満	2.5未満	2.5未満
		シアン化合物	mg/L	1以下	0.02未満	0.02未満	0.02未満
鉛およびその化合物		mg/L	0.1以下	0.01未満	0.01未満	0.01未満	
六価クロム化合物		mg/L	0.5以下	0.05未満	0.05未満	0.05未満	
四塩化炭素		mg/L	0.02以下	0.002未満	0.002未満	0.002未満	
ふっ素およびその化合物		mg/L	8以下	0.2未満	0.2未満	0.2未満	
ほう素およびその化合物	mg/L	10以下	0.1未満	0.1未満	0.1未満		

※「合併浄化槽」における実測値は、同一年度内に実施した全測定の平均値。ただし、「未満」と記載のあるものは測定限界値以下をあらわす。



● 揮発性有機化合物濃度

		(volppmc)			
	測定箇所	排出基準	2016年度	2017年度	
揮発性有機化合物濃度	工場棟排気口	北側①	600	8.3	110
		北側②	7.5	120	
		北側③	8.4	120	
		北側④	7.6	100	
	溶剤燃焼装置(RTO)	入口	1,100	990	
		出口	15	9.9	



工場棟排気口 北側①~④



工場棟排気口 南側



溶剤燃焼装置(RTO)